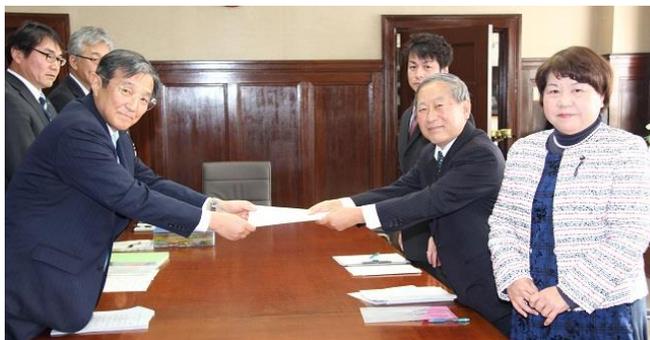


県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2018年1月28日 第297号

——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール wjcpken@naxnet.or.jp



知事と予算懇談

来春の県議選1次候補発表

日本共産党和歌山県委員会は、2019年統一地方選挙の県議選予定候補4人(第一次分)を発表しました。

【和歌山市(定数15)】

奥村 規子(66歳・現職) 県議3期。福祉環境委員会委員長、防災・国土強靱化対策特別委員、予算特別委員。和歌山県立高等看護学校卒。和歌山生協病院総婦長など歴任。党県常任委員。

松坂 美知子(61歳・新人) お茶の水女子大学卒。茨城県稲敷市議などを経て現在和歌山市議2期。新日本スポーツ連盟和歌山県理事長。党県委員、党北部地区委員。

【海南市・海草郡(定数3)】

河野 敬二(68歳・新人) 海南市議9期。和歌山県立凌雲高校卒。少年サッカー指導員、海南サッカー協会理事。党県委員、党北部地区常任委員、党海南市委員長。

【西牟婁郡(定数2)】

高田 由一(54歳・元県議) 1999年に県議初当選、11年に再度当選。総務委員など歴任。東京農工大学卒。東京都庁、和歌山県庁勤務。党県委員、党南地区副委員長。

のり子の週刊日誌(主なもの)

- 1月26日 市駅前・宇治交差点朝宣伝、農民連大会あいさつ
- 27日 地域訪問(西脇)、パーム前宣伝、JR前山下副委員長演説
- 28日 障害者後援会、河西後援会、西後援会
- 29日 河西無料生活相談、社保部会、地域訪問
- 30日~2月1日、防災・国土強靱化特別委員会視察
- 2月1日 市駅前事務所無料生活相談

公立学校の講師は削減
子ども医療費拒否、カジノ推進

日本共産党和歌山県議団は1月19日、来年度予算で仁坂吉伸知事と懇談しました。

県内の公立学校で教員定数内であるにもかかわらず、500人も非正規の定数内講師がいる問題で、知事はこれまでも減らすべきだという立場でした。今回は担当課をよび対応を報告させたところ、担当者は「定数内講師をむこう5年間で半減させる」「来年度から年50人程度ずつ減らしていく」と目標を明らかにしました。

奥村規子県議が貧困対策で、子どもの虫歯治療が問題になっていることをあげ、子どもの虫歯をゼロにする「虫歯ゼロ作戦」を提案。知事は「なかなかいい。考えてみます」と共感しました。

雑賀光夫県議が、大型の太陽光発電や風力発電施設の建設で、森

林伐採による災害の危険性を考慮する問題を取りあげ、知事は「目的意識としてだが、規制条例をつくらなければと思っている」としました。

知事は、住宅・店舗リフォーム助成制度の実施や、子どもの医療費の県制度拡大を拒否。県内へのカジノ・IR誘致では、ギャンブル依存症対策を懸念しながらも推進の立場を鮮明にしました。

◆お断り◆

今号は奥村県議が緊急な所用が入り本人執筆ではなく、党県議団のホームページから、予算懇談のみ紹介します。

予算要望は17ページ、7章223項目をHPで全文掲載しています。ぜひお読み下さい。

憲法を守る署名集め

22日付の赤旗新聞が「(改憲)」発議を阻む世論を急速に広げることが、文字通り焦眉の課題」と報道したことにに対し、ジャーナリズムのあるべき姿を示す新聞と期待の声を寄せられていました。

日本共産党は、赤旗の紙面だけでなく、全国市民アクションの皆さんや広範な民主団体と共同して『安陪9条改憲NO! 3000万人署名』に取組み、安陪首相が狙う年内改憲発議を許さない運動を草の根で進めています。私も先日、支部の方とご一緒に地域を訪問し署名集めに取り組みました。どのお宅でも、9条は守らなければ

どこでも署名いただき、協力者も

ならないと声を揃えます。「戦争中は幼かったが、街が燃えていた記憶がある。戦争はしてはいけない。署名を集めておく」といって署名用紙を数枚預かってくれました。別の方は、「軍事費にお金を使っている場合ではない、もっと別の使い道がある」「戦争を知らない政治家が政治をしている。戦争が出来ないよう9条は守らなければ」など対話が弾みました。

一軒一軒に時間がかかった事もあり、訪問出来た件数は少なかつたのですが、全てのお宅で署名にご協力頂く事が出来ました。

自民党は、昨年の総選挙で9条改憲には全く触れていないにも関わらず、選挙が終わった途端、騙し討ちのように改憲を推し進め、異常なまでに執着しています。日本の宝と言われる憲法9条を守る運動に全力で取り組みます。

(今週は順番交代です)

党市議会議員
中村あさと



リレートーク Relay talk リレートーク